

トウキョウ

The 12th

ゲイジユツ

Tokyo Performing Arts

Market 2008

ミホシイチ

YEBISU The Garden Hall

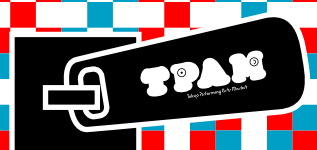
2008

International

インターナショナル・ショーケース 2008

Showcase 2008

開催報告書



■ 目 次 ■

00.	総括	P.2
01.	開催概要	P.3
02.	参加者内訳	P.4
03.	海外参加者一覧	P.6
04.	ブース・プレゼンテーション	P.11
05.	ヴィジュアル・プレゼンテーション	P.13
06.	TPAM ショーケース	P.14
07.	セミナー	P.16
08.	インターナショナル・ショーケース 2008	P.23
09.	レセプション	P.25
10.	パブリシティの記録	P.26
11.	主な掲載記事	P.29



00. 総括

東京芸術見本市 2008 は 3 月 5 日～8 日に実施され、多くの方にお集り頂いた。今回は欧州の舞台芸術の会議 IETM（コンテンポラリー・パフォーミング・アーツ国際ネットワーク会議）を日本で初めて招致。今まで以上に多彩な関係者が、特に欧州とアジアから集った。日本の舞台芸術は、ここ 2～3 年重要なフェスティバル等で再評価されてきており、本催事もその一助を担っていると感じる。また、国内のプレゼンターも、より目的的かつ積極的にご参加くださり、例えば皆さんにお配りしている「コンタクトリスト」への自主的なお名前掲載を希望される劇場関係者が多くなった。これは数年前では考えられなかったことで、こういった基盤整備事業の成果は地味だが着実に現れており、継続実施の重要性を改めて強く感じた。

今回の東京芸術見本市は、会場を恵比寿ガーデンプレイスで初めて実施し、先に触れた IETM を併設開催した（別途報告）。会場変更の結果、印象や時間帯が開放的になり良かったという意見が多く聞かれた。各プログラムについては、「TPAM フリンジ」から「TPAM ショーケース」への名称変更と内容の強化、ビジター参加費の値上げ、インターナショナル・ショーケースの縮小実施等が大きな変更点である。

まず、「TPAM ショーケース」の変更意図について。東京にはいわゆる「フリンジ・フェスティバル」がなく、国内外の舞台芸術関係者に広く自身の活動を紹介する場が少ない。例えばニューヨークには舞台芸術見本市の役割を負っている「APAP（Association of Performing Arts Presenters）」の年次総会があり、実に 1000 を超えるショーケースが実施され、「フリンジ・フェスティバル」としての性質も併せ持つ。「TPAM ショーケース」は、すぐに APAP のレベルにまでは届かないまでも、これを手本とし、演じる側にとっても紹介する側にとってもより多くの出会いが創出できればと、強化した。課題も多いが、参加者のご意見を反映しつつ引き続き力を入れたい。

ビジターの参加費の値上げについて。一昨年より開催期間を 4 日間にしたが、参加費は数年前の 2 日間実施当時とほぼ変わらず、運営的に大変厳しい時期が続いた。しかし多くの実公演をパスのみでご覧頂けることが認知されるようになり、4 日間を十全に参加される方にはご納得頂けるのではないかと値上げに踏み切った。ご理解を頂ければ幸いです。

「インターナショナル・ショーケース」は、今回から予算が 3 分の 1 に減り、金銭的に大変厳しい状況ではあったが、音楽、ダンス、演劇、韓国のショーケースを実施することができた。IETM を通して初来日する欧州のプレゼンターが多いことが予想されたため、それを念頭に置きつつ、TPAM ショーケースの傾向も考慮してプログラムを決め、7 つの団体を紹介させて頂いた。特にダンス公演、演劇公演については、60 年代以降、現在に至るまで様々な「様式」が日本の舞台上で生み出されたが、今も「様式」を重んじ上演されていると思われるアーティストに出演を依頼、力強い公演を実施頂いた。

日本には、作品と観客をさまざまな立場や方法でつないでいる劇場関係者や制作者など、舞台芸術の「プレゼンター」の協会がなく、孤軍奮闘されている方も多いと思う。ささやかではあるが、東京芸術見本市が年に一回、互いの情報や問題を共有し、新しいアイデアが生まれる一助になるよう、より一層尽力したい。

末筆になりましたが、参加者の皆様、各関係者の皆様には深く深く御礼申し上げます。

東京芸術見本市事務局

01. 開催概要

事業名： 東京芸術見本市 2008／インターナショナル・ショーケース 2008
会期： 2008年3月5日（水）～8日（土）
会場： 恵比寿ザ・ガーデンホール／ルーム／SPACE6／日仏会館 ほか

<東京芸術見本市 2008>

主催： 東京芸術見本市 2008 実行委員会
(構成団体：国際交流基金／財団法人地域創造／国際舞台芸術交流センター)
特別協賛： EU・ジャパンフェスト日本委員会
協賛： イタリア文化会館／スペイン大使館／フィンランドセンター／ブリティッシュ・カウンシル
特別協力： 恵比寿ガーデンプレイス株式会社
協力： サッポロビール株式会社／セイコーエプソン株式会社／財団法人大阪 21 世紀協会／株式会社ポスターハリス・カンパニー／有限会社ネビュラエクストラサポート／テアトルプラトール／専門学校エビスビューティカレッジ
助成： オランダ王国大使館／スペイン文化省グラシアン基金 (Subvencionada por Programa "Baltasar Gracián" del Ministerio de Cultura de España) ／財団法人 日韓文化交流基金
後援： 外務省／総務省／経済産業省／文化庁／東京都／社団法人全国公立文化施設協会
併設事業： コンテンポラリー・パフォーミングアーツ国際ネットワーク会議「IETM@TPAM」(※)
財団法人地域創造主催セミナー (共催：社団法人全国公立文化施設協会)
早稲田大学演劇博物館グローバル COE・日仏演劇協会共催セミナー
提携事業： 東京国際芸術祭 2008

※ コンテンポラリー・パフォーミングアーツ国際ネットワーク会議「IETM@TPAM」

会期： 2008年3月3日（月）～5日（水）
会場： 恵比寿ザ・ガーデンルーム／日仏会館
主催： 国際舞台芸術交流センター／IETM 本部（ベルギー）
助成： 平成 19 年度文化庁芸術団体人材育成支援事業／セゾン文化財団

<インターナショナル・ショーケース 2008>

主催： 文化庁
企画・制作：国際舞台芸術交流センター

参加料：	ブース・プレゼンテーション（通常料金）	60,000 円
	ブース・プレゼンテーション（早期割引）	55,000 円
	ヴィジュアル・プレゼンテーション	35,000 円
	TPAM ショーケース	30,000 円
	* TPAM ショーケースとのセット料金	
	+ブース・プレゼンテーション（通常料金）	70,000 円
	+ブース・プレゼンテーション（早期割引）	65,000 円
	+ヴィジュアル・プレゼンテーション	45,000 円
	4 日間通しビジター・パス（通常料金）	10,000 円
	4 日間通しビジター・パス（早期割引）	8,000 円
	1 日ビジター・パス	4,000 円
	* IETM@TPAM とのセット料金	
	+4 日間通しビジター・パス（通常料金）	13,000 円
	+4 日間通しビジター・パス（早期割引）	11,000 円

02. 参加者内訳

1. ビジター参加者数

4日間参加者			230名
国内参加者	146名		
海外参加者	84名		
1日参加者（海外参加者29名を含む）			
3月5日	37名	（参加可能者数）	267名
3月6日	42名	（参加可能者数）	272名
3月7日	61名	（参加可能者数）	291名
3月8日	16名	（参加可能者数）	246名
4日間ビジター参加者のべ人数			1,076名

2. 出展・アーティスト参加団体

ブース・プレゼンテーション参加団体	47団体	（49ブース）	
ヴィジュアル・プレゼンテーション参加団体	23団体		
TPAMショーケース参加団体	22団体		
参加者数（各日）			209名
参加者数（4日間）			836名

3. 延べ参加者実数

1,912名



4. 各企画の参加者数（入口にてカウント）

■東京芸術見本市 2008		総席数	入場者数
3月5日	オープニング・レセプション	200席	210名
3月6日	セミナー：それぞれの地域においてダンスがどのように役に立つのか	130席	60名
	ヴィジュアル・プレゼンテーション（ダンス・音楽）	130席	133名
	セミナー：ダンス・スクリーン・スウェーデン	130席	45名
3月7日	セミナー：魅力ある公立文化施設のための年間プログラムづくり	130席	102名
	ヴィジュアル・プレゼンテーション（演劇）	130席	127名
	セミナー：地方分権・文化政策・舞台芸術環境 今日のフランスにおける展望と課題	130席	60名
3月8日	勅使川原三郎最新ビデオダンス作品+前作記念同時上映（2回上演）	130席	76名
	クロージング・パーティ	150席	103名
	TPAM ショーケース（21団体69公演）予約者数		325名
		計	1,241名
■インターナショナル・ショーケース 2008		総席数	入場者数
3月5日	音楽：渡邊琢磨 aka COMBOPIANO/菊地成孔クインテット・ライブ・ダブ	184席	120名
3月6日	ダンス：黒沢美香/室伏鴻 Ko & Edge Co.	184席	185名
3月7日	演劇：ARICA/カノコト	184席	117名
3月8日	ソウル舞台芸術見本市ショーケース：シアター・ムーリー	184席	79名
		計	501名
◎東京芸術見本市 2008/インターナショナル・ショーケース 2008 延べ参加者数			1,742名
■コンテンポラリー・パフォーミング・アーツ国際ネットワーク会議：IETM@TPAM		総席数	入場者数
3月3日	基調講演：同時代の舞台芸術	124席	76名
	映像レクチャー① 現代日本演劇の歴史性をめぐって2 —— 証言の演劇と外の思考	124席	82名
	映像レクチャー② 拡張する舞踏・コンテンポラリーダンスの発生： 現代日本の舞踊における身体とは？	124席	67名
	古典芸能の手法をつかった現代演劇の可能性	124席	19名
3月4日	コンテンポラリー・パフォーミング・アーツ —— 欧州と南北アメリカの観点から	124席	62名
	場のもつ潜在性—アーティストのための「遊び」場	124席	63名
	サイトスペシフィック・ワークとは？	124席	23名
	ヨーロッパとアジアの同時代性を問い直す —— 身振り・ネットワーク・エコノミー	124席	60名
3月5日	モビリティ時代のネットワーク	124席	86名
		計	538名

03. 海外参加者一覧

海外参加者総数： 29 の国と地域から 計 145 名

◆ビジター参加者 計 113 名

【Austria／オーストリア】 1 名

Veronica KAUP-HASLER (シュタイリッシャー・ヘルプスト フェスティバル・ディレクター)

【Belgium／ベルギー】 10 名

Mary Ann DeVLIEG (IETM 事務局長)

Riet JAEKEN (TRANSPARANT 音楽劇場 国際関係マネージャー)

Jean-Francois MALJEAN (Transat Line アーティスト)

Michel QUERE (IETM ミーティング・オーガナイザー)

Amandine RIMBERT (カンパニー・ミシェル・ノワレ ツアー・マネージャー)

Armel ROUSSEL (Utopia 2 ディレクター)

Christophe SLAGMUYLDER (クンステン・フェスティバル・デザール 芸術監督)

Christine STANCZYK (カンパニー・モスー・ボンテ ツアー・マネージャー)

Ive STEVENHEYDENS (Etcetera ジャーナリスト)

氏名不明 (Utopia 2)

【Brazil／ブラジル】 1 名

Nayse LOPEZ (パノラマ・フェスティバル芸術監督、キュレーター、ディレクター)

【Cambodia／カンボジア】 1 名

Fred FRUMBERG (アムリタ・パフォーミング・アーツ ディレクター)

【Canada／カナダ】 2 名

Lynda CLOUETTE-MACKAY (テアトル・サン・フィル エグゼクティブ・ディレクター)

Marie-Helene FALCON (フェスティバル・トランスアメリカ、ジェネラル・ディレクター兼芸術監督)

【P.R.China／中華人民共和国】 1 名

Changcheng ZHANG (北京モダンダンスカンパニー ディレクター)

【Finland／フィンランド】 4 名

Jussi HELMINEN (エスポー市立劇場 芸術監督)

Raija OJALA (ゾディアック・センターフォー・ニュー・ダンス マネージング・ディレクター)

Ville SORMUNEN (ヘルシンキ市立劇場 芸術監督、ヘルシンキ・ダンス・カンパニー)

Marinella VARTIAINEN (ヘルシンキ市立劇場プロデューサー、ヘルシンキ・ダンス・カンパニー)

【France／フランス】 7 名

Emmanuelle DE MONTGAZON (スーパーポジション プロデュース&コンサルティング)

Aurélia GUILLET (ディレクター)

Anita MAATHIEU (ランコントル・コレグラフィック・アンテルナショナル・ドゥ・セーヌサンドウニディレクター)

Caroline NAPHEGYI (ル・ラボラトワール芸術監督)

Franck STOFER (SONORE 日本事務所ディレクター)

Christophe TRIAU (パリ第 7 大学准教授)

Emmanuel WALLON (パリ第 10 大学教授)

【Germany／ドイツ】 4名

Adolphe BINDER (Binder + Partners Berlin BPB、Producer / Consultant /Agent)
Stefan RIEKELES (レ・ジャルダン・デ・ピロット、トランスメディアレ キュレーター)
Max SCHUMACHER (post theater [new york / berlin / tokyo]芸術監督)
Hiroko TANAHASHI (post theater [new york / berlin / tokyo]共同芸術監督)

【Hungary／ハンガリー】 1名

Peter SOLTESZ (Pecs 2010 欧州文化都市代表、イベントコーディネーター)

【Indonesia／インドネシア】 1名

Amna KUSUMO (クローラ財団ディレクター)

【Ireland／アイルランド】 2名

Quinn GAVIN (パン・パン・シアター芸術監督)
Gina MOXLEY (パン・パン・シアター ライター&パフォーマー)

【Italy／イタリア】 2名

Katia CENTONZE (カラブリア大学)
Fabrizio GRIFASI (ローマ・ヨーロッパ芸術文化財団芸術監督)

【Lithuania／リトアニア】 2名

Viktoras KARPUSENKOVAS (アーツ・プリンティング・ハウス マネージャー)
Ada PAUKSTYTE (ヴィリニユス [欧州文化首都 2009] 演劇・ダンスプロジェクト・マネージャー)

【Macao／マカオ】 1名

Chun Kau YU (マカオ文化センター シニア・プログラミング&マーケティングマネージャー)

【The Netherlands／オランダ】 4名

Sandra BOEREN (ReneSan's ジェネラル・マネージャー)
Henk KEIZER (ヴレーデ・ファン・ユトレヒトプログラムコーディネーター)
Jerry REMKES (anoukvandijk dc、マネージング・ディレクター)
Nan VAN HOUTE (前 IETM ディレクター、テアター・フラスカティ)

【Norway／ノルウェー】 5名

Ann-Christin DANHAMMAR (ジョー・ストレームグレン・カンパニー ジェネラル・マネージャー)
Nils Henrik ASHEIM (Tou Scene コンテンポラリー・アーツ・センタープログラム・ディレクター)
Vibeke RULLESTAD (スタバンガー2008 プログラムアドヴァイザー)
Solfrid GLESNES (ジョー・ストレームグレン・カンパニー プロジェクト・マネージャー)
Tine RUDE (ジョー・ストレームグレン・カンパニー プロジェクト・マネージャー)

【Romania／ルーマニア】 1名

Constantin CHIRIAC (シビウ国際演劇祭ディレクター、Radu Stanca 国立劇場ジェネラル・ディレクター)

【Serbia／セルビア】 3名

Milena DEPOLO (Dom Omladine 文化センター 劇場プログラム編集)
Milan LUCIC (Dom Omladine 文化センター ディレクター)
Darijan MIHAJLOVIC (ベルグラード市文化局長)

【Singapore／シンガポール】 2名

Adel AHMAD (スリ・ワリサン・ソム・サイド・パフォーミングアーツ ジェネラル・マネージャー)
Mervyn QUEK (エスプラナード・カンパニープログラムマーケティング部アシスタント・マネージャー)

【South Korea／韓国】 33名

CHOE Seong Kuk (インチョン文化芸術センター ステージ・マネージャー)
CHOI Yong Hun (アルコ・アーツ・シアター芸術監督)
HAHN Sunsuk (MODAFE 芸術監督)
HWANG Tae Yoon (アンドン市民センター音響スタッフ)
JEONG Hyeon-Wook (ワンダー・スペース)
KIM Bo Yeon (ハナム・アーツ・センター舞台芸術企画課アシスタント・マネージャー)
KIM Eun Kyu (通訳)
KIM Jin Su (ウルサン文化芸術センター ステージ・マネージャー)
KIM Jung Hyun (キョンナム文化芸術センター 舞台芸術部チーフ・マネージャー)
KIM Min-Young (ソウル舞台芸術フェスティバル コーディネーター)
KIM Myung Su (韓国国立劇場支配人)
KIM Young Min (セジョン・アーツ・センター)
LEE Byung Gook (ソナム文化財団 [アート・センター] 音響監督)
LEE Chan (キムヘ芸術スポーツセンター 舞台芸術企画チーム チーフ・マネージャー)
LEE Chang Ki (セジョン・アーツ・センター チーフ・マネージャー)
LEE Hyun Ju (ウルソッド文化センター 舞台芸術部 音響スタッフ)
LEE Hyun Sik (クンポ文化芸術センター 舞台芸術企画チーム ジェネラル・マネージャー)
LEE Ji Yeon (文化観光省 芸術部舞台芸術課 副課長)
LEE Kyo Beom (ノウォン芸術文化センター 劇場企画部 企画宣伝部)
MYUNG Sang Jong (ソリ・アーツ・センター 芸術振興部)
NOH Jong Kun (チャンフン文化芸術センター 文化観光部ステージ・マネージャー)
O Chang Min (ソングジュ文化芸術センター 照明監督)
PARK Jung Lee (韓国文化芸術施設協会 総務部副部長)
PARK Se Yong (デジョン文化芸術センター ステージ・マネージャー)
PARK Sek Yong (ゴンジュ文化芸術センター 舞台管理部 音響スタッフ)
PARK Seong Jae (ホンチョン文化芸術センター 技術スタッフ)
RYOU Yong Hoon (チャングム・アート・ホール 舞台芸術企画部 アシスタント・マネージャー)
SEUNG EUN Hyun (ソウル舞台芸術フェスティバル 経理部)
SIM Kyo Jin (ガンゲン市文化スポーツ施設局 舞台芸術チーム照明スタッフ)
SUNG Clair (ソウル舞台芸術フェスティバル 海外企画プログラマー)
YANG Hee III (テアン芸術センター 施設管理部 技術スタッフ)
YOO Nam Geun (韓国文化芸術施設協会 事務局長)
YOUN Tae Hee (チャングム・アート・ホール 舞台管理部 照明スタッフ)

【Spain／スペイン】 1名

David MARQUEZ (エンジェルズ・マルガリット、カンパニーMUDANCES マネージャー)

【Sweden／スウェーデン】 1名

Virve SUTINEN (Dansens Hus ディレクター)

【Switzerland／スイス】 1名

Alain VUIGNIER (ジンマーマン&ドゥペロ マネージャー)

【Taiwan／台湾】 1名

YEN Ya-Ting (INFINE アート&カルチャー・エクステンジ ディレクター兼プロデューサー)

【Thailand／タイ】 1名

TANG Fu Kuen (SEAMEO-SPAFA 研究員)

【Turkey／トルコ】 1名

Pelin BASARAN (ガラジュイスタンプール 国際関係コーディネーター)

【U.K./英国】 9名

Alison ANDREWS (アーツ・カウンシル・イングランド 舞台芸術担当オフィサー)

Christopher BANNERMAN (ミドルセックス大学 ResCen 所長)

Carol BELL (ニューキャッスル・ゲーツヘッド・イニシアティブ 企画部長)

David BILTON (ニューキャッスル・ゲーツヘッド・イニシアティブ Culture10 フェスティバル&イベント・マネージャー)

Marcel JENKINS (ジョンジー・ディー・プロダクションズ ジェネラル・マネージャー)

Roy LUXFORD (マイケル・クラーク・カンパニー エグゼクティブ・ディレクター)

Richard SOBEY (IOU プロダクションズ エグゼクティブ・プロデューサー)

Kerry WHELAN (ジョージ・パイパー・ダンス/バレエ・ボーイズ ジェネラル・マネージャー)

Madani YOUNIS (フリーダム・ステュディオ芸術監督)

【U.S.A/米国】 10名

Ken CARLSON (アーツ・ミッドウエスト ウィスコンシン事務所シニア・プログラム・ディレクター)

Eamon CROSBY (ミュージック・クロスローズ)

David J FRAHER (アーツ・ミッドウエスト エグゼクティブ・ディレクター)

Vallejo GANTNER (パフォーマンス・スペース 122 芸術監督)

Shigeyo HENRIQUEZ (アーツ・ミッドウエスト ワールド・フェスト ツアー・マネージャー)

Emma KILLIAN (ミュージック・クロスローズ)

Colleen McLAUGHLIN (アーツ・ミッドウエスト企画部ディレクター)

MIYAI Futoshi (ジャパン・ソサエティ舞台公演部副部長)

Cooper RACHEL (アジア・ソサエティ 文化事業・舞台芸術部ディレクター)

SHIOYA Yoko (ジャパン・ソサエティ芸術監督)

◆ブース・プレゼンテーション参加者 計6団体・18名

【Canada/カナダ】 7名

ケベック・オン・ステージ - シナール

Alain PARE (シナール CEO)

Paul TANGUAY (カンパニー・マリー・シュイナール ディレクター)

Elisabeth COMTOIS (アジャンス・スタシオン・ブルー エージェント)

Barbra SCALES (ラティテュード 45 代表)

Annick HUARD (カンパニー・ユビュ)

Michel VALIERE (テアトル・アンクリネ)

スターヴォックス・エンタテインメント

Corey ROSS (スターヴォックス・エンタテインメント代表)

【U.K./英国】 2名

ゲティング・オン・ザ・マップ

Ian BONE (ゲティング・オン・ザ・マップ 共同プロデューサー)

Frank WILSON (ゲティング・オン・ザ・マップ ディレクター)

【South Korea/韓国】 5名

コリア・アーツ・マネジメント・サーヴィス/ソウル舞台芸術見本市

LEE Gyu Seog (コリア・アーツ・マネジメント・サーヴィス 会長)

WOO Yeon (コリア・アーツ・マネジメント・サーヴィス ディレクター)

KOH Jooyoung (コリア・アーツ・マネジメント・サーヴィス コーディネーター)

HAE Minyoung (コリア・アーツ・マネジメント・サーヴィス コーディネーター)

MIN Byoungcheol (コリア・アーツ・マネジメント・サーヴィス コーディネーター)

【Sweden/スウェーデン】 2名

ダンシング・スウェーデン

Asa EDGREN (スウェーデン文化交流協会 ジェネラル・マネージャー兼海外ツアー担当)

Anders OHRN (スウェーデン文化交流協会 プロジェクトリーダー)

【Finland/フィンランド】 2名

ダンス・インフォ・フィンランド

Heli LAMPI (フィンランド・ダンス情報センター国際部マネージャー)

Sanna REKOLA (フィンランド・ダンス情報センター ディレクター)

※参加予定だったグリ・ボヌ・プロデューサー・センター (ウズベキスタン) は都合によりキャンセル

◆ヴィジュアル・プレゼンテーション参加者 計1団体・1名

* 下記1名はブース・プレゼンテーションにも参加

【Canada/カナダ】 1名

スターヴォックス・エンタテインメント

Corey ROSS (スターヴォックス・エンタテインメント代表)

◆インターナショナル・ショーケース 2008 参加者 計1団体・14名

【South Korea/韓国】

シアター・ムーリー

HAN Tae Sook (シアター・ムーリー 芸術監督)

KIM Soo Hee (シアター・ムーリー シニアディレクター)

CHUNG Dong Hwan (シアター・ムーリー 俳優)

SEO Joo Hee (シアター・ムーリー 俳優) 他

04. ブース・プレゼンテーション

3月6日(木) 13:00~16:00、7日(金)・8日(土) 12:00~16:00/恵比寿ザ・ガーデンホール

■出展団体■ 計47団体・49ブース

＜ダンス＞ 計4団体・4ブース

大橋可也&ダンサーズ
ダンスカンパニーディニオス
ダンスカンパニーノマド〜s
レニ・バツソ

＜演劇＞ 計7団体・7ブース

IDIOT SAVANT
「お吉物語」ラストホープ
かんじゆく座(全員60歳以上のアマチュア劇団)
THEATRE MOMENTS
児雷也
日本ろう者劇団
パパ・タラフマラ

＜音楽＞ 計1団体・1ブース

舞太鼓あすか組

＜フェスティバル＞ 計2団体・2ブース

大道芸ワールドカップ in 静岡
東京国際芸術祭

＜劇場・ホール＞ 計5団体・4ブース

サンケイホールブリーゼ
シアター1010
財団法人埼玉県芸術文化振興財団/彩の国さいたま芸術劇場
世田谷パブリックシアター
山口情報芸術センター(YCAM)

＜制作会社・エージェント＞ 9団体・9ブース

ARIGA10MUSIC
スタジオエッグス
ステーション
Tokyo Dance Market 2008 (アンクリエイティブ)
パペットミュージカル「みつばちマーヤの冒険」
プリコグ/precog
メナ・ミュージック
ルフトツーク
和リーグ



<舞台芸術関連団体> 9 団体・10 ブース
インフォメーションクリエイティブ
演劇ライフ
各国欧州文化首都
NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク
JJA
NPO 法人日本ガムラン音楽振興会
ポスターハリス・カンパニー
モーニングデスク／シアターガイド
ロングランプランニング株式会社

<海外団体> 7 団体・9 ブース
ケベック・オン・ステージシナール（カナダ）
ゲティング・オン・ザ・マップ（英国）
コリア・アーツ・マネジメント・サービス／ソウル舞台芸術見本市（韓国）
スターヴォックス・エンタテインメント（カナダ）
ダンシング・スウェーデン（スウェーデン）
ダンス・インフォ・フィンランド（フィンランド）
メキシコ（メキシコ）

<主催団体> 3 団体・3 ブース
国際交流基金
財団法人 地域創造
国際舞台芸術交流センター

■総括■

海外など、東京以外で行われている舞台芸術見本市に参加すると、ブース出展の規模について維持・拡大する見本市と、縮小する方向の見本市とに分かれる傾向にあることを感じる。東京芸術見本市も、ブース出展の方向性を改めて考えなければならない局面に立ち、一年前の TPAM2007 では、ブースの数を 40 に抑え、ブース出展者を舞台芸術関連の統括団体のみにしぼった。単体のアーティストやカンパニーにはヴィジュアル・プレゼンテーションや TPAM フリンジへの参加を促した結果、従来からの懸案事項だったアーティストやカンパニーの時間的・金銭的負担軽減にはつながったが、一方で、TPAM2007 開催後のアンケートや意見交換会の結果をみると、ブースは見本市会期中の「居場所・拠点」としての機能があるため、アーティストサイドからの需要が非常に高いということがわかった。

そこで、今回の TPAM では前回よりもブース数を増やし、団体種別に制限をつけず募集することに決定した。また、上記のブース出展時間以外（6 日は 13:00～20:30 まで、7 日は 10:00～18:00 まで）も会場をミーティングスペースとして利用できるようにしたことにより、出展団体の催事の最も重要な目的の一つ、「ミーティング機能」をより強化するよう企画した。

その他、ブース登録料+1 万円で TPAM ショーケースにも参加できるセット価格を設け、メイン会場に足を運ぶことの少なかった TPAM ショーケース（旧 TPAM フリンジ）参加者にもブース出展しやすいように提案を行った。実際、上記の 47 団体中、TPAM ショーケースと併せて出展する団体が 9 団体、ヴィジュアル・プレゼンテーションと併せて出展する団体が 7 団体あり、ブース会場が実演団体とビジターの出会いの場という役割はもちろん、さらに TPAM 全体のプログラムと来場者のコミュニケーションを仲介するハブとしての機能を十分に発揮していた。また、カフェスペースと隔たりなくつながっているため、来場者、参加者が溜まり易い会場設計になっていた。

今後、セット料金や共同ブースなど、より実演団体が参加しやすい方法を提案しながら、TPAM のメインプラットフォームとしてのミーティング機能をより強化したブース・プレゼンテーションにしていきたい。

05. ヴィジュアル・プレゼンテーション

■参加団体■

<ダンス／音楽> 3月6日（木）13:00～15:30／恵比寿ザ・ガーデンホール

川口隆夫
金魚（鈴木ユキオ）
白井剛（AbsT）
time and locus（高野美和子）
ダンスカンパニーディニオス
ダンスカンパニーノマド～s
野村眞里子 エルスール・フラメンコ舞踊団
山口情報芸術センター（YCAM）
Yuzo Ishiyama / A.P.I.
レニ・バツソ
ひのき屋

計 11 団体

※ 参加が予定されていた company izuru は出演者急病のためキャンセル



<演劇> 3月7日（金）13:00～15:30／恵比寿ザ・ガーデンホール

IDIOT SAVANT theatrical company
花伝 [KADEN] シアターカンパニー
壁ノ花団
劇団夢現舎
サイエンス・プロジェクト
三条会
スターヴォックス・エンタテインメント（カナダ）
ストアハウスカンパニー
地点
パパ・タラフマラ
マレビトの会
山の手事情社

計 12 団体



■総括■

TPAM2007にて新設され、今回2回目となるヴィジュアル・プレゼンテーションは、初回の反省をうけ、参加者にとっては、短時間でまとまった数のプレゼンターにアピールできるプログラムとして、また来場者にとっては、一度に複数の作品を大画面映像にて見ることができるプログラムとして、双方にとって効率的かつ情報量の多い企画になるよう構成した。

具体的には、参加者の準備の負担を軽減するため、映像を中心としたプレゼンテーションとし、配布資料も「ツアー・インフォメーション」という作品のスペックを記載した用紙を配布する形式のみにして、その他のカンパニー、アーティスト資料は会場入り口の資料コーナーにて自由に配布できるようにした。また、前回ダンス、演劇、音楽・複合と3日間に分けていたが、複合ジャンルをやめ、ダンス、演劇、音楽のゆるやかな区分を設け、参加団体を2日間に分けて、集中して見ることができるようにした。

今回のヴィジュアル・プレゼンテーションを振り返ってみると、基本的には作品映像を見るという形式だが、実際にカンパニーの制作担当者やアーティスト本人、または団体主宰者など普段話しを聞くことができないような担当者も登場し、プレゼンテーションを行っていたのが印象的であった。この、創る側の生の声を聞きながら作品を見るということ自体が見本市ならではの、機会であり、単に作品映像を見るのとは異なる興味深いプログラムに仕上がったといえる。

当日は、TPAM ショーケース等のスケジュールとの兼ねいで、2 日間でできる限りの紹介をし、それによって多くの来場者が見に来ることができるスケジュールとなっていた。また初めて日本に来た外国のプレゼンターも多く、一挙に日本のカンパニーを知ることができ、有意義なプログラムだったと高い評価を得ている。一方で 10 分間だけでは、具体的な成果につながることは難しいのでは、という懸念もあったが、フルバージョンの DVD を各カンパニーが用意し、その映像を見たプレゼンターから後日コンタクトがあるなど、次のステップにつながっているという情報も入ってきている。

ヴィジュアル・プレゼンテーション参加者の中には、ブース出展や TPAM ショーケースと併せて登録している参加者も多く、催事全体を活用していることが伺えるが、本プログラムのみに参加しているカンパニーやアーティストがプレゼンテーション以外の時間をいかに有効に活用してもらうようにできるかが、今後の課題である。

06. TPAM ショーケース

■参加団体■ ※二重カギ括弧内は公演タイトル

<ダンス> 計7団体

斉藤美音子『てすり (SePT独舞 vol.18)』
金魚 (鈴木ユキオ)『鈴木ユキオ・ワークショップ「また、踊るために」ショーイング』
世田谷パブリックシアター+ハイウッド『ダンスショーケース』
アंकリエイティブ『Tokyo Dance Market 2008』
NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク『踊りに行くぜ!! vol.8 SPECIAL IN TOKYO』
ダンスカンパニーノマド〜s『時の花 (toki-no-hana) — Flowers and Time —』
大橋可也&ダンサーズ『明晰の鎖 特別版』

<演劇> 計9団体

劇団夢現舎『続・遺失物安置室の男』
花伝 [KADEN] シアターカンパニー『天守物語』
パパ・タラフマラ『三人姉妹』
チェルフィッチュ『フリータイム』
劇団解体社『バイバイ ーリフレクションー』
ティーファクトリー『ワニの涙 <神なき国の夜Ⅲ>』
サイエンス・プロジェクト『キャラクター・ピース (「マイ・ライフ」「ディス・タウン」「ミート・ザ・ファミリー)』
THEATRE MOMENTS『幸福な王子』
永田恵美『Under The Skirt Show』
※ 参加予定だったOM-2『作品No.5』は諸事情により公演中止

<音楽> 計4団体

ARIGA 10 MUSIC 『ZIPANG with アフリカの演奏家達』

宮西 希 『KOTO パフォーマンス & セッション』

謹成祝花 『サウンド ダンス パフォーマンス』

水野俊介 『5-String Woodbass Solo Performance』

■総括■

本年は、TPAMにおいて実演を観る機会をより多く提供し、TPAM ショーケースに対する認知度をあげることを目的とした。このような経緯もあって、これまで「TPAM フリンジ」という名称であったプログラムを「TPAM ショーケース」と変更して、TPAM の催事としてより近いイメージを持ってもらおうと考え、実施した。

3月1日(土)～9日(日)までの9日間をTPAM ショーケース期間とし、20団体が69公演を行った。今回、TPAMにコンテンポラリー・パフォーミング・アーツ国際ネットワーク会議「IETM@TPAM」が併設されていたこともあり、多くの海外からの参加者と国内からの参加者が増え、最も多い公演で40名を超える参加者が予約をすることになった。

また、昨年の参加団体(13団体)から増加した理由としては、このプログラムが多くの芸術団体に認知されてきたことと、ブース・プレゼンテーションまたはヴィジュアル・プレゼンテーションの参加団体は10,000円でTPAM ショーケースに参加可能なセット価格があったことによると考えられる。当初、ブース出展やヴィジュアル・プレゼンテーションのみ参加するとしていた団体が、TPAM ショーケースにも合わせて参加したことから、今後さらに、TPAM 期間中に合わせて公演やショーイングを行うという参加形態が増えてゆくことが予想される。

予約方法としては、3月5日以前に公演を行う団体については、チケット予約申込書をTPAM ウェブサイトからダウンロードし、入力できるようにし、あわせて参加者にメールで送り予約を募った。6日以降に公演を行う団体については、3日から開催されたコンテンポラリー・パフォーミング・アーツ国際ネットワーク会議「IETM@TPAM」の会場にて予約を受けられるようにデスクを設けた。

また、各会場の地図をプログラムに掲載し、参加者にとって分かり易いように努めた。予約方法については、参加者にとって簡便で、参加しやすい方法であったため、結果的に多くの参加者を集めることとなった。会場までのアクセスについては、わかりにくい会場もあり、今後課題を残す点である。

07. セミナー

◆それぞれの地域においてダンスがどのように役に立つのか — イギリスのコミュニティダンスを参考に

3月6日(木) 10:00~12:00/SPACE 6 会議室 A

言語：日本語/英語同時通訳

協賛：ブリティッシュ・カウンシル



スピーカー：クリストファー・バナーマン [ミドルセックス大学 ResCen 所長]

大野典子 [財団法人札幌市芸術文化財団 教育文化会館事業部 事業課 事業係長]

モデレーター：佐東範一 [NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN) 代表]

東京芸術見本市 2005 に引き続き、イギリスのコミュニティダンスについて取り上げ、イギリスにおける事例、現地視察報告の紹介、さらに日本においてどのように展開できるかを考えることを目的として行った。

最初に、モデレーターである佐東範一氏から、日本社会のなかでダンス=アートの力を活かしていくためには、ダンスのワークショップやアウトリーチをもっと継続していく為の仕組みづくりが必要で、そのモデルとして、イギリスのコミュニティダンスのあり方が参考になると思った。ブリティッシュ・カウンシルの協力を得て、どのような仕組みでコミュニティダンスが行われているかを知るために、公共ホールの方々と一緒にイギリスに調査に行ったという、今回のセミナーを企画するに至った経緯が話された。

続いて、クリストファー・バナーマン氏からイギリスにおけるコミュニティダンスについて、その発展や社会と関わっている事例についてのプレゼンテーションがあった。

1975 年、ロンドンコンテンポラリーダンスシアターが最初にコミュニティにおけるダンスのワークショップを成功させことからアーツ・カウンシルがコミュニティでのダンスワークショップに助成していくこととなる。これと並行して、70 年代からダンスの組織に教育またはアウトリーチを専門とする担当者が生まれ、現在ではダンスのプロフェッショナルを養成する学校でも教育やアウトリーチの部分が必須になってきているということであった。

また、ストリートダンスをしている少年の例を DVD で見ながら、ダンスのジャンルを問わずコミュニティダンスは行われているということ、そしてその際に、ダンスに参加する人々が何に興味を持ち、すでにどういった技術を持っているのかなどを考えながら、教えるだけではなくて、参加者と互いに影響しあうというダンスアーティストのあり方が紹介された。

コミュニティダンスとプロフェッショナルのダンスは相互に影響を与えて発展していったが、そのひとつとして、コミュニティダンスのなかで「ディヴァイジング (devising)」と呼ばれる振付の方法についての説明があった。以前ダンス作品を作るときは、振付家がダンサーに「こういう風にして欲しい」と伝え、全ての動きを振付家自身が行って見せながら振付けるといった方法であったが、今日では、ほとんど全ての振付家はダンサーが生み出したムーブメントを、構成しながら全体の作品を創っていくという形になっているという。



それはコミュニティダンスの中で生まれた新しいムーブメントが、逆にプロフェッショナルなダンス作品に影響を与えると同時に、そこから新しいダンス作品が生まれるきっかけにもなっているという。

次に、ダンスが社会のなかに入り、多様な社会状況と関係することで、より良い社会環境に変えていく事例に触れた。ダンスと健康という関係においては、保健省（Ministry for Public Health）と文化省（Ministry for Culture）が行政レベルで協働し、国民に向けて、ダンスがいかに健康に良いかというプロモーションを行っている。実際に肥満などの治療の一環として、ダンスのクラスを無料で受けることもできるようになっている。

また別の例では、学校をドロップアウトした若い人たちが犯罪に手を染めるケースも多く、こうした若者たちへも、独自のダンスプログラムを実施しているカンパニーがあるということであった。さらに、多民族が生活するイギリスでは、多言語が話されている学校が多い。ロンドンの学校では 20 以上もの言語が話されていることが珍しくなく、さまざまな民族コミュニティに対しても相互のコミュニケーションを図るためにダンスが有効に使われている。

このように、社会における様々なコミュニティにダンスが関わることで、ダンスによって社会がつながっている姿をイギリスのコミュニティダンスの活動によって知ることができた。

バナーマン氏のプレゼンテーションの最後に、参加者を 3~4 人のグループに分け、10 分間で、日本においてコミュニティダンスを行おうとしたときに、その発展を妨げられる問題・障害を 1 つ、解決法 1 つを出すためにそれぞれのグループで話しあった。話し合いの後の発表では、問題・障害として、「違う人種間でコミュニケーションを取ることが日本ではない」「恥ずかしい気持ちがある」「指導者であるアーティストにコミュニティダンスの経験があるアーティストが少ない」ということ、この問題・障害を解決する方法として、「ダンスをすることが恥ずかしいものではないという認識を持つためにみんなが一度はダンスを経験する」や「コミュニティダンスとアーティストをつなぐ人の不在。つなぐ仕組み・方策を考えること」などの意見が出た。

その後、大野典子氏から 2007 年 6 月に行ったイギリスのコミュニティダンスの施設を視察して感じた印象をうかがった。

視察を通して最も驚いたのはシステムが整備されているということ。行政と距離を持って、分野の違うそれぞれの組織に資金を分配できるアーツ・カウンシルの存在やナショナルダンスエージェンシー（以下、エージェンシー）、教育機関、カンパニーがそれぞれの特色を生かした活動を行うことで、互いの活動をカバーしている印象を持った。中でも、ダンスと人をつなぐ組織であるエージェンシーの活動が新鮮で、劇場を持たず事務所だけというエージェンシーもある。つまり、劇場がないことがデメリットにならず、むしろコミュニティに基盤を置き、ともに活動をしていく場合、メリットとも考えられている。

訪問先の 1 つであるイーストロンドンのエージェンシーでは、この地域が多民族の住む貧しい地域で、差別を解消するためにダンスの力を使っている。ちょうど 2012 年のオリンピック予定地の近くであり、誘致をするにあたってダンスによっていかに若者が希望を得たか、活力を得て暮らしたかというイメージを戦略として使っているということであった。

自分たちの地域を 50 年後にどのような地域にしたいのか、自分たちの劇場がコミュニティの人たちの集まる場となっているか、を考える上で、コミュニティダンスの活動、そしてエージェンシーという組織のあり方は大変参考になる事例である。スペースを持っていることを最大限に活かすことで、公共ホールがエージェンシーになれる可能性を秘めているのではないかという報告であった。

◆ダンス・スクリーン・スウェーデン — ザ・ニュー・ミックス 1996-2007
— スウェーデンのコンテンポラリー・ダンス映像作品から

3月6日(木) 18:30~20:30/恵比寿ザ・ガーデンホール

言語：英語/日本語逐次通訳

スピーカー：アンデシュ・エーン [スウェーデン文化交流協会 プロジェクトリーダー]

現在スウェーデンで活躍している、コンテンポラリー・ダンスの振付家のなかでも、作曲家や照明デザイナー、映画監督と共同で創作活動を行っているアーティストが、国内のみならず海外からも注目されている。他分野のアーティストと共同作業することにより、ジャンルを越えたオリジナル性の高い秀逸な作品が数多く生み出されている。

特に「ダンスシネマ」と呼ばれる映像用に振付けられたダンス作品は、映像技術とダンスが融合した新しいジャンルとして、スウェーデンにおいて急速に発達している。この「ダンスシネマ」作品の上映を中心に、今最も活躍しているスウェーデンのアーティストが紹介された。

<上映作品> 計 8 作品

『The Hidden (隠されたもの)』1996年・3分 www.reich-szyber.com

振付：ボグダン・シベル&カリーナ・レイヒ/監督：ヨナス・オーケルンド

ダンサー：アニア・ビーンバウム、セシリア・ルース、アネット・サルマンデル、
アンナ＝カーリン・ラーション、スサン・ベリグレン、エリーサベット・カールソン、
ベネディクト・ウエイネリヒ、マツラ・グレイペンギッサー＝アース

『Rewind (巻き戻し)』2004年・5分 www.loco-motion.se

振付：グニツラ・ヘイルボーン/写真：モーテン・ニルソン

ダンサー：ヘレーナ・フランセーン、アンナ・シェルブラード、サンドラ・メティーナ、
スタッファン・エーク、マツ・ガルペンダール、トーヴェ・サリーン、ユッカ・コルピ、
ヘンリック・ウィクマン

『Weightless (無重力)』2007年・7分 www.erikajanunger.se

振付/監督：エーリカ・ヤヌンゲル/写真：ダービッド・グレン

ダンサー：チューヴァ・ルンドグヴィスト、マーリン・スタッティン

『2 soon (トゥースーン)』2005年・5分 www.ccap.se

振付：クリスティーナ・カプリオリ/写真：ヨハン・ノードストロム

アニメーション：ヘンリック・スヴェンソン

ダンサー：シッラ・オルセン、クリスティン・スレッテヨルド

『Paradise? (パラダイス?)』2007年・4分 www.scentrifug.se

振付/監督：ペッテル・ヤコブソン、トム・カレイ/写真：セントリフューグ

ダンサー：ペッテル・ヤコブソン、トム・カレイ、ニクラス・ヴァレンティ

『Observation (視界)』2007年・15分 www.ekkoproject.net

振付：クララ・エレニウス/写真：リーヌス・エークルンド

ダンサー：カロリーナ・ベックマン、ヨナス・カールソン、マリー・シュルツ

『Tila (ティーラ)』 2007年・4分

振付／監督：アレクサンドラ・カンパベル／写真：ルル・サルミ

ダンサー：オーサ・ルンドビーク＝グスタフソン

『The Rain (雨)』 2006年・28分30秒 www.lidberg.se/pontus

振付／監督：ポントウス・リードベリ／写真：ラルフ・エヴァース

ダンサー：ヘッダ・スティヴァーニーク、イーヴァン・オーズリ、

ジョヴァンニ・ブッキエーリ、ポントウス・リードベリ、アリーシア・ヴィカンデル、

フィリップ・ゴフィン

◆財団法人地域創造主催セミナー

魅力ある公立文化施設のための年間プログラムづくり～政策評価の視点から～

3月7日(金) 10:00～12:00／恵比寿ザ・ガーデンホール(ヴィジュアル・プレゼンテーション会場)

共催：社団法人 全国公立文化施設協会

言語：日本語／英語同時通訳

コーディネーター：草加叔也 [空間創造研究所 代表]

パネリスト：児玉 真 [NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク ディレクター]

津村 卓 [北九州芸術劇場 チーフプロデューサー]

漢 幸雄 [あさひサンライズホール 文化振興課 主幹]

渡辺 弘 [彩の国さいたま芸術劇場 事業部長]

近年、市町村合併の進展や、指定管理者制度の導入などにより、公立文化施設を取り巻く環境は大きく変化しており、各ホールでは使命・役割(＝ミッション)を再確認し、それに伴った事業・運営を行っていくことと、それに対して適切な評価を行うことが施設の設置主体や管理者に強く求められている。

それに合わせ地域創造では昨年度まで「公立文化施設における政策評価のあり方」をテーマにした調査研究事業に取り組んでいた。その研究の中で浮かび上がってきた、もっとも重要な点は、やはりホールのミッションの重要性であった。

今回のセミナーでは、ミッションに基づいた運営・プログラミングを行っているホールからパネリストをお招きし、それぞれの施設がどのような背景を持ち、どのようなミッションを持っているのか、またそこからどのようにプログラムが組み立てられているのか、などについてお話しいただき、このセミナーに参加された公立文化施設の関係者が、それぞれのホールの年間プログラムをもう一度考える契機としていただくことを目的とした。

パネリストの渡辺氏には「設置主体が都道府県」「非公募(指名)による指定管理者」「芸術監督制」という視点からのどのような経緯で芸術監督制を取ることとなったのか、また実際に芸術監督によりどのようにプログラムが組まれているのかについてお話しいただいた。

津村氏からは「設置主体が政令指定都市」「公募による指定管理者」「プロデューサー制」という立脚点から、北九州芸術劇場について北九州市のそもそものコンセプトが明確であったことから具体的なプログラムを作ることが出来たという紹介が行われた。

漢氏は「設置主体が市町村」「直営」「ネットワークを活用した事業運営」というポイントから、市内の小中学校を対象にアウトリーチを実施するなど「小さなホールでは出来ることが限られているので、地に足をつけて事業を行っている」という直営ホールとしての取り組みを中心に紹介していただいた。

児玉氏には民間のホールである第一生命ホールの企画運営を担う NPO のディレクターの立場を中心としながらも、東京という多数のホールがある地域における位置づけを考えた上で、地域に根ざした「東京ローカル」をコンセプトとした事業を行っているという、公共ホールにとっても非常に重要な点について触れながらお話しいただいた。



最後に、コーディネーターの草加氏より「公共ホールのプログラミングや評価について、一つの回答のようなものは存在しないと言うことが今回登場いただいたホールの多様さからわかるのではないかと、今後重要になるホールは特色を持ったホールである必要があるのではないかと」という叱咤激励でセミナーが締めくくられた。

◆早稲田大学演劇博物館グローバル COE・日仏演劇協会主催セミナー

地方分権・文化行政・舞台芸術環境 今日のフランスにおける展望と課題

3月7日(金) 18:30~20:30/日仏会館ホール

言語：フランス語/日本語同時通訳

スピーカー：エマニュエル・ヴァロン [パリ第10大学演劇科教授]

フランスでは1940年代から、パリだけでなく、地方都市にも公共劇場や教育機関を設置するなど「演劇の地方分権」を推進してきた。当セッションではフランス政府の文化政策に詳しいパリ第10大学のヴァロン教授にフランスにおける文化の地方分権の現状と今後についてお話しいただいた。

「演劇の地方分権」の第1段階は、第四共和政下(1946~1958)に国民教育省の行政官ジャンヌ・ロランと演劇人のジャン・ヴィラルールによって推進された。ロランは舞台芸術活動に公的助成金制度を導入、地方都市に「国立演劇センター」(Centre Dramatique National)を創設し、またロランの後押しを受けて、ジャン・ヴィラルールは国立民衆劇場の芸術監督に就任し、地方都市アヴィニオンに演劇祭を立ち上げるなどした。第2段階が第五共和政の1959~60年以降、ヨーロッパで初めて「文化省」が創設され、アンドレ・マルローが初代文化大臣に就任し、国の本格的な助成によって「文化の家」(Maison de la Culture)を地方都市や大都市郊外に創設した。国立演劇センターの創設も続いた。第3段階はミッテラン政権の文化大臣ジャック・ラングと内務・地方分権大臣ガストン・ドゥフェールによるもので、地方の演劇活動を大きく発展させるための新たな政策を推し進めた。

文化の家や国立演劇センター設立当初は、国と市町村が劇場の設備費や運営費を半分ずつ分担することを原則とし、有限会社や1901年法に則った非営利協会が母体となって劇場運営にあっていたが、こういった施設が増加するにつれて、市町村が劇場創設についてのイニシアティブをとるようになり、国からの助成を15～40%とやや抑制して、新しいタイプの文化施設がつくられていった。今日、これらの動きを総括し、再編成したかたちで公共劇場の全国ネットワークが存在するが、ほとんどの場合、国よりも地元自治体のほうが劇場の存在を強く望み、より多くの資金を出している。あらゆる市民の自宅から1時間以内に劇場が存在することを目標に、現在では地方の小さな町にも劇場があるという状況になっている。

現在パリには演劇に関して3つのセクターがある。間接的に公的支援も受けている民間劇場が50ほどあり、入場料の3.5%が目的税として納められ、補助金として使われている。また市立劇場が2館あり、国の助成は受けずに、パリ市の補助金のみで運営されている。3つめが国立劇場で、フランス全土で5館あるうちの4館がパリにあり、国の補助金のみによって運営されている。一方、パリ以外の地方には「公共劇場」というひとつのカテゴリーしかなく、資金のほとんどは、市町村（コミュン）、県、地方、あるいは（日本の広域行政にあたる）「都市共同体」が出している。

1990年代から、各地の文化の家や文化活動センターを再編して、国が総予算の30%～50%を助成する「国立舞台」（70館）がつくられ、現代舞台芸術の制作と上演を行っている。また、「協定舞台」（74館）が、特定の分野の舞台芸術を上演するという契約を国と結び、その中には、フランス語圏外の作家の翻訳劇、人形劇、サーカス、大道芸などを上演する劇場もある。協定舞台に対する国の助成は約20～30%で約3年ごとの契約になる。

フランスの劇場では、通常1作品25～30回の上演を行うために2～3カ月の稽古をする。劇場は、制作公演、買取公演、共同制作、フェスティバルなどさまざまなプロジェクトを行っているが、その仕事ぶりについては批評家、業界、プレス、文化省が注目している。カンパニーにとっても再演よりも新作のほうが助成金を得やすく、1975年には地方における芸術の普及を後押しするために国立芸術普及事務所（ONDA）が創設され、舞台作品を単館、あるいはネットワークで上演する場合に劇場やカンパニーなどに支援を行っている（短期間に複数の地方を巡演するプロジェクトが助成を受けやすい傾向にある）。また、俳優や技術スタッフが、過去10カ月のうちに507時間の労働をした場合、失業保険（休業補償）を受給できる「アンテルミタン」の制度もある。

2003年の調査では、15歳以上のフランス人のうち過去1年間に、演劇を観た人は全人口の16%、ダンスが12%、サーカスが9%、オペラ・オペレッタが4%、コンサートが25%だった。チケット料金は平均12～15ユーロ（約2000～2500円）だが、学生などには割引があり8ユーロ（約1300円）ほどで観られる。パリでの1作品の平均上演日数は3週間ほどだが、地方都市の場合、上演日も平均3日と短い傾向にある。

フランスの文化政策においては「民主化」ということがずっと言われてきたが、人は特別な理由がない限り劇場に足を運ばない。さらに現在、政治においては国民を一つに束ねられるようなテーマがなく、従来のようにたとえば「カトリック」などとひとくくりにできない非常に難しい状況が生まれている。地方自治体は、舞台芸術にお金を出す場合、例えば、地域の中学校やリセでワークショップを行うとか、託児所や老人ホームでの公演、あるいは県や全国を巡演するなどして、観客を生み出し、地域同士をつなぎ、地方自治体の価値を高めて欲しいと考えている。また、観客の多様化にともない、劇場で上演されるものもラップから現代劇、オペレッタまで多様な、魅力ある作品を創造することが求められている。重要なのは、町全体＝住民を巻き込み、町自体を演出することである。リヨンやマルセイユなどの大きな町ではオペラを上演したりフェスティバルを開催して幅広い市民層を劇場に呼びこんでいる。また大道芸を町中で展開したり、劇場で成功した作品を倉庫や工場跡など特別な場所で上演するなどの試みを行い成功した例もある。

多くの市町村は総予算の 15~20%を文化にあてている。国の文化予算は、国家予算の約 1%といっても、金額的には非常に重要なものだ。しかし、国の文化予算の半分はパリとその周辺で使われており、演劇の地方分権の速度は遅くなっているのが現状である。例えば、国立演劇センター「ナンテール・アマンディエ」は4つの行政レベルで助成を受けているが、数カ月前に受け取っているべき国からの助成金をまだ受け取っていない。文化予算は2年前からだんだんと削減されており、当初は市町村がその分を補っていたが、地方自治体の予算も頭打ちになってきている。また「協定舞台」と「国立舞台」の違い、国立センターとその他の施設の違いもだんだんと曖昧になってきており、これからは各施設の独自性を打ち出すことが課題となっている。

しかし、フランスの場合、(多くが農村部にある)地方自治体の長の大半は農業に従事しており、農村部の孤独な老人に文化的な楽しみが重要であることを「知っている」。また、アヴィニヨンやカンヌなどの例にみられるように、夏のヴァカンスの時期、町の活動そのものが停滞する時期にフェスティバルを行うことで、経済的な面でも貢献できるということも「わかっている」。例えば、サンテティエンヌの町は非常に文化格差の大きな町だったが、1940年代から文化事業に力を注ぎ、現在ではフランスの中でもクオリティの高い作品を上演し、劇場に通う人も多い町のひとつになっている。これは長い時間をかけて、いくつものチームが様々な仕事をし、魅力的な提案をしてきた成果である。

日本とフランスとの社会システムや芸術基盤の整備の相違、文化の重要性に対する認識にまだまだ大きなちがいがあがるが、さまざまな実験、試行錯誤を含んだ努力を続けることによって、どのような町でも成果が生まれる可能性はあるという言葉でセッションはしめくくられた。

08. インターナショナル・ショーケース 2008

主催：文化庁／企画・制作：国際舞台芸術交流センター

◆音楽ショーケース 3月5日（水）17:45／恵比寿ザ・ガーデンルーム

渡邊琢磨 aka COMBOPIANO



©Horinouchi Takeshi

出演：渡邊琢磨（COMBOPIANO）

プログラム：

ソロ；作曲された素材をベースにしたノイズ音楽のインプロヴィゼーション。ピアノサウンドとノイズ、フィードバック。

菊地成孔クインテット・ライブ・ダブ



©Horinouchi Takeshi

出演：菊地成孔（サックス）／坪口昌恭（ピアノ）
藤井信雄（ドラム）／菊地雅晃（ベース）
パードン木村（ダブ）

プログラム：

コレクティブ・ミュージック；ジャズ・インプロヴィゼーション。菊地発案の“POLY-BPM”メソッド。

◆ダンス・ショーケース 3月6日（木）16:30／恵比寿ザ・ガーデンルーム

黒沢美香



©Horinouchi Takeshi

作品タイトル：ロマンチックナイト

出演：黒沢美香

室伏 鴻／Ko&Edge Co



©Horinouchi Takeshi

作品タイトル：quick silver+Dead 1

出演：室伏 鴻／鈴木ユキオ／目黒大路

◆演劇ショーケース

3月7日(金) 16:30/恵比寿ザ・ガーデンルーム

ARICA



© Miyauchi Katsu

作品タイトル : KIOSK・Woman

演出・美術 : 藤田康城

テキスト : 倉石信乃

出演 : 安藤朋子

音楽・演奏 : 猿山修/高橋永二郎

カノコト



© Miyauchi Katsu

作品タイトル : 建築構造物は死体

構成・演出・出演 : 戸田裕大

◆ソウル舞台芸術見本市ショーケース

3月8日(土) 16:00/恵比寿ザ・ガーデンルーム

シアター・ムーリー



© Miyauchi Katsu

作品タイトル : レディ・マクベス

出演 : ソ・ジュヒ/ジョン・ドンファン/リ・ヨンラン

パク・ゼチョン/キム・ミンジョン/ホン・スンギョン

クオン・キョンミン

原作 : シェイクスピア「マクベス」

クリエーション・演出 : ハン・テスク

オブジェ : リ・ヨンラン

09. レセプション

■ オープニング・レセプション

5日(水) 16:00-17:20/エビスビューティカレッジ

オープニングスピーチ：国際交流基金 小倉和夫理事長

昨年度までは、招待者、出展者、海外参加者などにものみ告知してきたが、今回は当日配布するプログラム冊子のタイムテーブルへ掲載し、ビジター（一日券は除く）を含めすべての参加者が出席できるオープンな集まりとした。今年度は東京芸術見本市の会場を恵比寿ガーデンプレイスに移し、これまで以上に参加者ができるだけ自由に会える場を設けることを念頭において企画をたててきたが、オープニング・レセプションもその一環として、参加の自由度をあげたものである。結果、210名の参加者の集う盛大な会となった。

(飲料提供：サッポロビール株式会社)



■ クロージング・パーティ

8日(土) 16:45-18:00/恵比寿ガーデンホール フォワイエ



参加者が催事終了時に再度集まり、また次年度の告知を行う場としてクロージング・パーティを行うことが昨年度閉会時からの課題であったが、今回ブース会場前のロビーが利用できたことで出展者の参加も可能になり、100名を超える参加があるなど、予想以上に意義ある会となった。

こういった参加自由度の高い会を少ない労力と費用で行えるのには、会場の雰囲気、利用の仕方に負うところが大きく、そういった意味では今回恵比寿ガーデンプレイスに場所を変えた意義は大きい。

10. パブリシティの記録

◎国内新聞 7紙

しんぶん赤旗（日本共産党中央委員会発行）	2/29（金）掲載
読売新聞（読売新聞社発行）	3/1（土）夕刊掲載
東京新聞（東京新聞社発行）	3/5（水）夕刊掲載
公明新聞（公明党機関紙局発行）	3/18（火）掲載
日本海新聞（新日本海新聞社）	3/26（水）掲載
生涯教育新聞（生涯教育通信社発行）	3/30（日）掲載
夕刊フジ（産業経済新聞大阪本社発行）	4/8（火）掲載
夕刊フジ（産業経済新聞大阪本社発行）	4/9（水）掲載

◎国内雑誌・情報誌 7誌

邦楽ジャーナル（邦楽ジャーナル発行）	12/1 発行・12月号掲載
シアターガイド（モーニングデスク発行）	11/2 発行・12月号掲載
をちこち（国際交流基金発行）	2月号掲載
春びあ 首都圏版（びあ株式会社発行）	2月末掲載
GLITTER（トランスメディア株式会社発行）	3/1 発行・3月号掲載
ダンツァ（株式会社東京 MDE 発行）	3/28 発行・第15号掲載
日韓文化交流基金 NEWS	6月末発行・46号掲載

◎国内英字新聞 1紙

The Japan Times（The Japan Times 社発行）	3/6（木）掲載
--------------------------------------	----------

◎国内英文雑誌 1誌

AERA English（朝日新聞社出版局発行）	2/26・4月号掲載
--------------------------	------------

◎テレビ 2局

IPC ブラジルチャンネル「PRIMEIRA EDICAO」 「JORNAL IPC」	3/5（水）放映
Korea Now TELEVISION 「KOREAN NETWORK」	3/9（日）放映

◎ラジオ 1局

NHK 国際放送「Japan & the World 44 Minutes」	3/20（木）放送
--	-----------

◎国内ウェブサイト（主要なもののみ）

OhmyNews（オーマイニュース株式会社）
東京の観光 Tokyo Tourism Info（東京都運営）
演劇番組・テアトルプラトール（テアトルプラトール有限責任事業組合運営）
REAL TOKYO（REAL TOKYO 運営）
Intoxicate（タワーレコード運営）
日韓文化交流カレンダー（日韓文化交流基金運営）
演劇総合ニュースサイト 演劇交差点（フォルス・スタート商会運営）
Fringe（fringe 運営）
Embassy of the Kingdom of the Netherlands（オランダ王国大使館運営）

他、参加団体ウェブサイトなどに多数掲載。

◎海外新聞 1紙

東亜日報（韓国の主要紙）

◎海外雑誌 2誌

Etcetera（Theaterpublicaties vzw 発行・ベルギー）
韓国演劇（韓国演劇協会発行・韓国）

◎海外ウェブサイト（主要なもののみ）

Culture360 ASIA&EUROPE（ASEF 運営）

他、参加団体ウェブサイトなどに多数掲載。

◎当日取材 11件

3/3（月） 小宮山圭祐氏（オーマイニュース編集者）／橋爪明日香氏（オーマイニュース記者）

他カメラマン1名

取材内容：IETM・見本市全般、東京芸術見本市事務局長 丸岡ひろみインタビュー 他

媒体名：OhmyNews（動画ニュース）

3/3（月）～5（水） 田中伸子氏（The Japan Times 記者）

取材内容：IETM・見本市全般

媒体名：The Japan Times

3/3（月）～3/8（土） イヴ・スティーヴンヘイデンス氏（ベルギー・フリージャーナリスト）

取材内容：IETM・見本市全体の取材、アリソン・アンドリュース氏、アムナ・クスモ氏、松井憲太郎氏、
武藤大祐氏インタビュー

媒体名：Etcetera 誌（ベルギー）、Culture360 ASIA&EUROPE（ASEF 運営）

3/3（月）～3/8（土） 但馬智子氏（株式会社文化科学研究所）

取材内容：見本市全般、海外参加者インタビュー

媒体名：国際交流基金「Performing Arts Network Japan」 他

3/4（火） 玉井京子氏（IPC ブラジルチャンネル ディレクター）他カメラマン1名

取材内容：IETM「コンテンポラリー・パフォーミング・アーツ—欧州と南北アメリカの観点から」

セッション取材、ナイーゼ・ロペス氏インタビュー

媒体名：IPC ブラジルチャンネル「PRIMEIRA EDICAO」「JORNAL IPC」

3/4（火） 宝田俊幸氏（NHK 国際放送ディレクター）／山田有里子氏（キャスター）

取材内容：IETM 事務局長 マリー・アン・ドウヴリーク氏インタビュー

媒体名：NHK 国際放送「Japan & the World 44 Minutes」

3/4（火）～3/8（土） 坪池栄子氏（株式会社文化科学研究所）

取材内容：見本市全般、クローラ財団 アムナ・クスモ氏他インタビュー

媒体名：地域創造「地域創造レター」 他

3/6（木）～3/8（土） 西元まり氏（ジャーナリスト）

取材内容：IETM・見本市全般、アラン・パレ氏他、参加者インタビュー

媒体名：産業経済新聞大阪本社「夕刊フジ」

3/7（金） 前田耕作氏（生涯教育新聞 編集企画局長）

取材内容：見本市全体の取材

媒体名：生涯教育新聞

3/7（金）～8（土） Yoo Kyung Suk 氏（東亜日報ジャーナリスト）

取材内容：見本市全般、ソウル舞台芸術見本市、インターナショナル・ショーケース「シアター・ムーリー」取材

媒体名：東亜日報

3/8（土） 金珍華氏（Korea Now TELEVISION ジャーナリスト）他カメラマン2名

取材内容：ソウル舞台芸術見本市 取材、インターナショナル・ショーケース「シアター・ムーリー」取材、

劇作家・演出家ハン・テスク氏インタビュー

媒体名：Korea Now TELEVISION「KOREAN NETWORK」



11. 主な掲載記事

〔5〕 ☆ 2008年(平成20年)3月5日(水曜日)

エンターテインメント

演劇やダンス、音楽など舞台芸術の「マーケット」となる「東京芸術見本市2008」が五日、東京・恵比寿ガーデンホールなどで開かれる。十一回目の今回は二十五日、同会場で世界の舞台関係者が一堂に会するコンテンツ「パフォーミング・アート国際ネットワーク会議」も日本で初開催。

同見本市は、劇場・ホールの制作担当者、フェスティバルのディレクター、プロデューサー、エージェント、プロモーターなど作品を観客に提供する「プレセクター」とアーティストが参加。これをきっかけに国内外で数多くの公演が実現している。昨年は約二千九百人、海外からも三十の国と地域から約五百五十人が参加した。

今回は、音楽が五日、菊地成礼クインテット・ライブ・タブなど。ダンスが六日、黒沢美香ら。演劇が七日にそれぞれ行われ、八日は「ソウル舞台芸術見本市」から招聘した韓国の演劇作品が上演される。



「東京芸術見本市2008」きょうから

勅使川原三郎の
新作ビデオも上映



勅使川原三郎の新作ビデオダンスから

また勅使川原三郎が監督・編集・出演の最新映像作品も初上映される。

同見本市はプロ向けのマーケットだが、芝居好きやダンスファン、音楽フリークといった一般の方々も参加できる。

問い合わせは、同見本市事務局
03・5724・4660。

東京新聞 2008年3月5日(水) 夕刊



2008年 2月29日 金曜日
日刊第20569号

発行所 日本共産党中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷4の26の7
〒151-8586 電話 03(3403)6111

©日本共産党中央委員会2008年

文化の話題



勅使川原三郎の最新ビデオダンスが世界各地に広がっています。作品をパフォーミング・アート

東京芸術見本市
3月5日〜8日
東京芸術見本市2008 (T.P.A.M.) が3月5日〜8日まで、東京・恵比寿・ガーデンホールほかで開かれます。

東京・恵比寿・ガーデンホールほかで開かれます。T.P.A.M.はダンス、音楽、演劇など舞台芸術のマーケット。アーティストと、その作品を観客に紹介する「プレセクター」が国内外から集まり、見本市での出会いをきっかけにした公演が世界各地に広がっています。

03(3403)6111
4660事務局

しんぶん赤旗 2008年2月29日(金)



2008年(平成20年) 3月1日 土曜日

ガイド

★世界の芸術団体が「見本市」東京芸術見本市が5日から8日まで、恵比寿・ガーデンホールなどで開かれる。国内外の演劇、ダンス、音楽にかかわる団体が公演や映像やアース出展などで活動をアピールする。菊地成礼クインテット・ライブ・タブ(5日)、勅使川原三郎最新ビデオダンス上映(8日)、韓国の劇団シアター・ムーリー公演「レディ・マクベス」(同)などの催しがある。☎03・5724・4660。

エンターテインメント
アワード

読売新聞 2008年3月1日(土) 夕刊

The Japan Times

Thursday, March 6, 2008

ART BRIEF



© TOKYO PERFORMING ARTS MARKET

“Tokyo Performing Arts Market 2008”

Yebisu Garden Place, The Garden Hall and various other locations in Tokyo
Until March 8

Searching for talent or work among Tokyo's many performing-arts companies can be a challenge. Agents, promoters, producers, festival directors, artists — anyone in the performing arts industries — are faced with a huge selection of dance, theater and music groups. How to quickly sift through the pickings and make the right connection? The easy answer is the Tokyo Performing Arts Market 2008 (www.tpam.or.jp).

Now in its 12th year, TPAM offers a showcase of performing arts groups under one roof, as well as selected locations throughout Tokyo. Like last year, TPAM expects about 2,900 participants from more than 35 countries. From March 6-8, at the main venue within Yebisu Garden Place, there are booth presentations with about 50 exhibitors; visual presentations of promotional video works by about 10 groups; an international showcase with about seven performances; conferences with an international focus; promotion for the Tokyo International Arts Festival (until March 24); and satellite meetings among groups connected with the Belgium-based International Network for Contemporary Performing Arts (IETM).

As part of the TPAM Showcase, a cornucopia of cutting-edge performances will be held at venues throughout Tokyo extending past March 8. Highlights include the theater company Chelitsch with performances at SuperDeluxe in Roppongi (see story top left). ARIGA 10 MUSIC (at Shinjuku Minotaure 2 in Tokyo's Shinjuku until March 7) guarantees a strong acoustic mix, with shamisen, *taikō* drum, shakuhachi and koto players mixing in with the sounds of African musicians — a worldwide one-of-a-kind. (Lucy Birmingham)

The Japan Times 2008年3月6日(木)



Japan Topics 国内情報

第12回「東京芸術見本市 2008」開催

今年で12回目を迎える「東京芸術見本市 2008」が、3月5～8日の4日間にわたり、恵比寿ガーデンホールにて開催された。東京芸術見本市とは、劇場の制作担当、プロデューサー、カンパニーの制作者など、作品提供を手がけるプレゼンターとアーティストら、舞台芸術の“売り手”と“買い手”が一室に会するマーケット。主な内容は、国内外の団体が活動をアピールするブース・プレゼンテーション、映像を用いた作品紹介を行うヴィジュアル・プレゼンテーション、実際にアーティストたちが各地で公演を行うショーケース、セミナーなど実に多彩だ。

昨年は、日本はもちろん海外からも30の国や地域に及ぶ約150名が参加。ここでの出会いをきっかけに、現在約30の公演・事業制作が決定または進行中だという。今年も韓国、カナダ、ベルギー、フィンランドなどから劇場プロデューサーらが多数来日。充実のプログラムを終えたこの見本市が、新たな舞台芸術の糧となることを期待しよう。

(小野寺悦子 Etsuko ONODERA)

ダンツァ 3月28日(金)第15号

GLITTER MARCH 2008 HOT Culture INFORMATION STAGE

東京芸術見本市2008



インターナショナル・ショーケース出演アーティスト:菊地成孔
日時:3/5(水)～3/8(土) 場所:恵比寿ザ・ガーデンホール/ルームほか
参加料:4日間通しバス ¥10,000(IETM@TPAMには+¥3,000で参加できます)
☎03-5724-4660(東京芸術見本市事務局) <http://www.tpam.or.jp>

演劇・ダンス・音楽 など舞台芸術の マーケット開催

ライブ、映像、セミナーなど様々なプログラムで「舞台芸術のいま」がわかるイベント。今年ば政州の舞台人ネットワーク会議「IETM@TPAM」(3月3～5日)を併催、約30カ国から150名が参加予定。出演は菊地成孔、COMBOPIANO、黒沢美香、室伏鴻、ARICA、カノコほか。

GLITTER 3月1日(土)3月号

黒沢の出演する舞台は「七つ超満貫」

3月6日、東京・恵比寿のザ・ガーデンルームに国内外の舞台関係者が集った。アジアを中心とした舞台芸術流通の場である東京芸術見本市の提携事業「インターナショナル・ショーケース」(文化庁主催)を見学するため、一般の観客も混



文化

黒沢美香の果てなき探究

舞踊評論家 池野 恵

いけの・めぐみ 1957年、東京都生まれ。舞踊評論家。平成17～19年度文化庁芸術祭審査委員を務める。著書に『バレエの鑑賞入門』(共著)など。



黒沢美香 (©塚田洋一)

意表つく動きや無音での表現 乳がんにも立ち向かい、舞台に

※先主に
なることを
否定し、あ

ニューヨークの著名なライヴ・スペース、ザ・キッチンにも進出した。そんな彼女の活動は、スタジオやギャラリーなど小スペースのほか、時にはキャンパスや地元の温泉など日常の場所にも及ぶ。

20代のニューヨークク体験や方向転換

20代で在外派遣研修員として滞在したニューヨークでの体験が大きな影響を及ぼしているという。80年代当時のニューヨークは、60年代に発生したシャドソンの教を継承したダンスの改革者たちが最前線で活動していた時期。ジョン・ケリーとマリス・カンガムのパフォーマンスに衝撃を

コンテンポラリー・ダンスの先駆者

ら、数多のポピュラー・ダンスが流れる中、拳動不審と思しき動作や無音で立ち戻るといった、わざとダンスらしからぬ行為で埋め尽くされた40分だった。この日はかなり早く黒沢の出演する舞台は、とても超満貫が続く。今月22、23日に予定されているセッションハウスでの公演年も、早くに完売しているという。ソロのほかにも、年齢差

受け、それ以来、確立された舞台芸術としてのダンスに背を向け、日常的なさまざまな動き、服装などで表現することに方向転換していった。

現代舞踊家の両親に継承され、幼い頃から数々のコンクールで優勝経験を持つエリートからの脱皮だった新しい潮流を前にして、それまで学んで得た価値観のすべてを否定するどころか、現在の黒沢美香が誕生したと見え

くまで行きの美談であるとする姿勢が際立つ。そんな探究心に惹かれて、さまざまなアーティストが集い観客も自ら増えていった。しかし順風満帆に見えたる2000年、乳がんを患う。手術と治療を受けて復帰するも06年に再発。淡々と事実を受け入れ、がんとともに生きることを表明し実践している。現在は鍼灸や気功に詳しいながら公演の準備に取り組み、身体機能の変化をコントロールする術を身につけたことは強みだ。新作公演『生』では30年来の念願だった音楽家、野口果との共演を果たす。病に立ち向かいつつ、どんな逆境を見せつけてくれるのか楽しみにした。

体験・感動・発見をサポートする

生涯教育新聞

平成20年(2008年)
3月30日
(第19号) ©生涯教育通信社 2008年

発行 生涯教育新聞社
〒274-0814 千葉県船橋市新高根2-9-23
TEL047-411-4410・FAX047-463-5085
〈月刊〉1部400円・年間3600円(学校は無料)

東京芸術見本市2008開催



orig.jp

3月5日(木)～8日(日)に行われた、東京芸術見本市「TPAM(ティーパム)」は演劇・ダンス・音楽などをアーティストが「売り」、プロモーターやフェスティバルのディレクターなどが作品を観客へと提供する人たちが「買う」舞台芸術のマーケットだ。これをきっかけに国内外で多くの公演が実現している。プロ向けマーケットだが一般の人もヒジターに参加でき、多彩な作品を一度に見られるチャンスだ。www.tpam.or.jp

恵比寿ザ・ガーデンホール

アートがもつ力 ~東京芸術見本市から~(上)

舞台芸術のマーケットである「東京芸術見本市(TPAM)2008」が、東京・恵比寿ザ・ガーデンホールなどで3月5~8日に開催され、国内外から多くの来場者を集めた。この見本市を通して、日本の芸術文化活動の広がりやアジアの動きなどを探ってみる。(西元まり)

ルに設けられた会場には今年80以上の団体が参加。舞台公演のDVDなどを紹介するほか、大型スクリーンを使ってプレゼンテーションが行われた。他の会場では、ダンスや上演された作品を多く見ることが出来る。また、商談や情報交換ができるカフェコーナーもあり、会場が手ごたえを伝えてきた。観客も十分な利益を得た。一般に「アーティスト登録料は、入場券である。カナダのモントリオールで2年ごとに行われている国際舞台芸術見本市(TPAM)は毎年、TPAMに出席する。代表のアラン・パレソンは、「私たちの創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

当初はアジアの舞台芸術の流通拠点となることを目指し、東京生まれのTPAMだが、ここ数年、中国や韓国などの舞台芸術活動が活発になっており、欧米



韓国のシアター・ムービーが今回上演した「レディ・マクベス」(撮影・宮内勝)

進化するアジアの拠点

からも目を浴びている。今回開催していた「アジア・アート・マネジメンツ・サミット」は、舞臺文化の観客の助成を受けて2006年に創設。05年から始

「私たちの創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

また「ワウ」芸術見本市の運営もしている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

「私たちが創設時の25年前を思い出した。出展者が驚くほど、経験値が足りないと感じるけれど、長期的な展望で見れば、それは素晴らしい」と思っている。

アートがもつ力 ~東京芸術見本市から~(下)

地方でダンス公演



「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

「踊りに行け!!」のパンフレットを説明するLCCの榎井夢子さん

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を

引きこもりなど社会問題解決を



発行所 東京芸術見本市事務局 〒155-8565 東京都港区南青山2-1-57 TEL (03) 6633-1221 大代表 榎井夢子 平成20年(2008年) 4月9日(水) 発行・8日

120円 (消費税込み)

4月9日(水) 発行・8日

(消費税込み)

東京芸術見本市 2008 / インターナショナル・ショーケース 2008

〈事務局スタッフ〉

事務局長	丸岡ひろみ
副事務局長	大原典子
副事務局長	田村光男
広報	中島香菜
国内プログラム担当	久保田夏実
海外プログラム担当	塚口麻里子
経理	高橋玲子

テクニカル統括・会場デザイン設営	関口裕二 (balance,inc.DESIGN)
テクニカルディレクター	川口真人 (レイヨンヴェール)
照明	菅橋友紀 (balance,inc.LIGHTING)
音響	原嶋紘平 (SONIC WAVE)
ショーケース舞台監督	矢島健
舞台設営	C-COM
受付統括	吉野さつき
ショーケース・IETM コーディネーター	黒田裕子
スタッフ	久保田広美、桜井由美子、杉谷美香 田里公平、福島尚子、柳井洋子、吉福敦子

クリエイティブ&アート・ディレクション	栗林和夫 (クリとグラフィック)
デザイン	クリとグラフィック
DTP	吉福敦子 (StudioGOO)
Web スタッフ	阿波田稔子
通訳	イディオリンク株式会社
翻訳	新井知行、近藤聡子
記録写真撮影	宮内勝、堀之内毅、魚住剛
記録映像撮影	古屋和臣、須永祐介
DVD 編集	古屋和臣
旅行アレンジメント	近畿日本ツーリスト株式会社
印刷	株式会社 雄進印刷



東京芸術見本市 2008 / インターナショナル・ショーケース 2008 開催報告書

編集・発行：東京芸術見本市事務局
150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 3-1-2 サウスビル 3F
Tel: 03-5724-4660 / Fax: 03-5724-4661
tpam@tpam.or.jp / www.tpam.or.jp

発行日： 2008年6月

